

「ヒバクシャ国際署名」 県内すべての市長・町長が署名



**核兵器廃絶に
いっそう積極的貢献を**

広島県知事を始め、県内すべての市長・町長が「ヒバクシャ国際署名」に賛同しました。

日本共産党市議団は、枝広直幹市長に対して、議会質問で要請していましたが、広島県被団協や福山市原水協の要請に応え、昨年12月に署名を郵送したことです。

今後は、庁舎内に署名コーナーを設けるなど、いっそう積極的に署名を推進し、核兵器廃絶に貢献することが重要です。

2016年度
決算

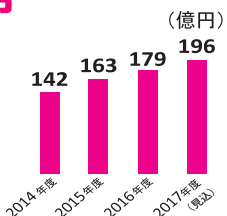
福山市の財政

34年連続で黒字

実質収支は35億円余で、34年連続の黒字です。

「貯金」179億円、基金総額384億円

市の貯金にあたる「財政調整基金」は179億円余、2017年度見込では196億円に達します。「豊かな財政力を市民のくらし・福祉・教育の向上に」と強く求めました。



ためにより
市民のため

議員定数

定数見直し—結論出す

現在40人の福山市議会の議員定数について議論してきた議会運営委員会は、「意見の一致には至らなかった」との結論になりました。

今でも「少ない」議員定数

福山市の議員1人あたりの人口は、中核市で9番目に多い1万1766人です。

議員は議会と市民をつなぐパイプ

少なくとも人口1万人に1人の議員を

福山市は1974年以後、人口1.6倍、面積2.1倍に拡大しましたが、その規模に応じた議員数ではありません。

特に合併町では、議会がなくなり、地域の切実な声が市議会に届きにくくなっています。

これ以上の削減は、市民意見の反映を妨げます。

議員報酬が一般会計に占める割合は0.2%にも満たず、議会が果たすべき役割から見て決して多くありません。

日本共産党市議団は、海外視察の自粛や費用弁償の廃止など、経費削減を求めています。

「議員が身を切る」の1人の議員が必要と考えます。

給食実施の3力年計画

開始時期		実施校	実施率
2018年度	4月	大門	45.7%
	9月	済美、中央、芦田、城西、神辺東	60%
2019年度	4月	(仮称) 鞆の浦学園、城東、鳳、誠之	71.4%
	9月	向丘、東朋、神辺西	80%
2020年度	4月	城北、幸千、培遠、福山	91.4%
	9月	城南、駅家南、神辺	100%

- ▼ 2016年から試行実施が始まり、ついに昨年11月、すべての市立中学校で完全給食を実施する計画が発表されました。
- ▼ より良い給食になるよう、以下の要望をしました。
- ▼ 開始時期の前倒し
- ▼ 自校調理方式の導入
- ▼ 正規調理員の増員
- ▼ 小学校の給食費の無料化

給食うれしいな！



先行実施した加茂中学校の給食



「中学校でも、あたたかくて栄養たっぷりの給食を」と、日本共産党市議団は市民のみなさんと力をあわせて、署名活動や議会質問に取り組んできました。

**ついに実現！
2020年全校実施！
中学校給食**

18,929筆の署名提出



中学校給食

要望署名提出

日本共産党
福山市議会議員団

福山市議会だより

発行：日本共産党福山市議会議員団
広島県福山市霞町3丁目4-25-401
電話・FAX 084-922-2815
2018年春号
info@f-jcp.com
http://www.f-jcp.com

裏面もご覧ください



日本共産党福山市議団

検索